



🐾🐾 最期まで 家族の一員として

大切な「家族の一員」であったはずのペットが飼い主の身勝手で放棄されることも後を絶ちません。市の動物管理センターによると、本市だけで犬が年間三百匹以上、猫が二千七百匹以上も放棄されているそうです。

放棄される理由はさまざまで、やむを得ず、泣く泣く放棄するケースもあります。しかし、無計画に生まれた子犬や子猫が放棄されることも少なくありません。子犬や子猫はかわいいですが、あなたが望まないなら、生まれないようにすることも一つの愛情ではないでしょうか。

どんな理由があってもペットにとつては、ある日突然大好きな飼い主と別れ、多くの場合死を迎えることには違いありません。そのとき、ペットたちは何を思うでしょうか。「どんなことがあっても、

最期まで家族の一員としてペットと一緒に暮らすこと」。これから飼おうと考えている方は、このことを飼うための第一条件としましょう。また、現在飼っている方もこのことを忘れないようにしましょう。

これから ペットを飼おうとしている あなたに・・・

- 最期まで、かわいがってあげられますか？
- ペットの習性を知っていますか？
- 転勤や引っ越しのときも連れて行けますか？
- 他人に迷惑をかけないように、しつけや世話をし
てあげられますか？

《 飼い主には、その責任があります 》

動物管理センターのホームページ

(<http://www.city.sapporo.jp/inuneko/index.htm>)には、犬や猫の飼い方、ペットに関する決まりごとなど、ペットとより楽しく暮らすためのヒントがいっぱいです。

ペットは、あなたの大切な「家族」。

その「家族」との生活は、私たちが責任を自覚してマナーを守っていくことで、より豊かで心地よいものになっていくはず。そして、「家族」の生命を預かる私たちには、その重みを受け止めて、共に暮らしていく責任があるのではないのでしょうか。

— あなたの街に暮らす多くの人のために、そして何よりあなたとあなたの「家族」のために。

